

平成23年12月22日 意見書を提出!!

APEC での TPP 交渉参加表明に抗議する意見書

野田総理大臣は、11月のアジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議において、「環太平洋経済連携協定（TPP）交渉参加に向けて関係国と協議を開始する」と述べ、事実上の交渉参加を表明した。その後、TPP交渉参加にあたって国会審議における閣僚間の答弁の食い違いや日米両国政府の発表に矛盾が生じる等、TPPを巡る混乱に拍車がかかっている。

TPP交渉参加にあたっては、交渉で協議されている事項が何なのか、我が国の利点・不利となる点や国益上の問題が何か、いかなる対策を検討しているのかが国民に示されないばかりか、政府内の各省の試算がバラバラであることや政府が正確な情報を出さないことから、国民的議論が全く熟していない段階である。特にTPPは「聖域なき関税ゼロ」が前提とされているにもかかわらず、これに我が国がどのように対応するのが不明確な中で参加表明に踏み切ったことは、拙速のそしりは免れない。

また、与野党を問わずAPECでの拙速な参加表明に慎重な意見が続出し、地方議会でも、本県をはじめとして交渉参加に反対する意見書が相次いで可決される中、こうした声をないがしろにし、事実上の交渉参加に踏み切ったことは極めて遺憾であり、政府のこのようなTPP交渉参加表明に断固抗議するものである。

本県は全国有数の食料供給県であり、県内の市町村の多くは農業が基幹産業となっている。本市においても農業は重要な産業であり、地域経済に深刻な打撃を与えることは明白であります。

今後、政府はTPPに対する国民的議論が熟すよう、交渉で得られた情報は速やかに明らかにし、TPPの利点・不利となる点・国益上の問題をわかりやすく国民に説明するとともに、交渉の結果、我が国の国益が損なわれる場合は、交渉から離脱するよう強く求める。

内閣総理大臣 他 関係大臣等へ提出

表紙によせて



霧島おろしの寒風の中イチョウの落葉を踏みしめ、途中であきらめず、最後まで頑張れという校長の励ましのもと力走する深川小児童の持久走大会です。明日のアスリート誕生を期待するところです。先般、当小の学習発表会で5・6年生の子どもたちは自分の将来の夢を苦勞しながらも作詞・作曲して堂々と発表しました。校訓の「かしこく」「なかよく」「たくましく」を指針として目標である「そおっ子の夢」実現に向けて頑張ってください。（九日）

編集後記

2月に入り各地で梅の便りが聞こえ、春の訪れを間近に感ずる季節となりました。

昨年は、1月の新燃岳の噴火に始まり、3月には東北大地震、7月には集中豪雨による豪雨災害、12月には桜島噴火による豪灰と「天変地異」を思わせる自然災害にみまわれた年でありました。

今年こそは、日々穏やかな年であってほしいと願うばかりです。昨年12月には新たな議会構成となり、議会

だよりも新メンバーでの発行となりました。掲載内容については、タイムリーにしかも的確にわかりやすい紙面を心掛けて参ります。どうかご愛読くださいますようお願い申し上げます。（海野）

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は2月24日開催の予定です。定例会の日程、傍聴、その他についてのお問い合わせはお気軽に議会事務局にお尋ねください。

TEL 76-8816（直通）

議会広報等調査特別委員会

委員長	八木 秋博
副委員長	九日 克典
委員	今鶴 治信
委員	五位塚 剛
委員	久長登良男
委員	海野 隆平
発行責任者	谷口 義則